

# 檜枝岐小中学校 算数科・数学科教育全体計画

## めざす児童生徒の姿

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>◇数量や図形に関する基礎的・基本的な知識及び技能が確実に身に付いている児童。</li> <li>◇筋道を立てて考え、表現する能力が身に付いている児童。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇数学的に考え表現することに関心を持ち、意欲的に課題を解決しようとする生徒。</li> <li>◇数学的な知識や技能を活用して、事象を数学的にとらえ、論理的に考察し表現できる生徒。</li> </ul>



## めざす児童生徒を育てる、9年間連続して取り組む学習スタイル

<b>「比較・検討」で 学びの質を 高める</b>	<b>ノートやプリントを 活用した授業を 実践する</b>	<b>振り返りやまとめ、 練習の場を 充実させる</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題を解決するための考え方や方法を「比較・検討」することで、児童生徒の数学的な見方や考え方の質を高める。</li> <li>○児童生徒の考えや教師の意図的な誤答を活用したり、問題の条件を変えるなどして「比較・検討」を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○必要な情報を整理する力、分かりやすく構成する力、数学的な思考力、表現力等の育成を目指し、ノートを活用する。</li> <li>○また、児童の実態に合わせて、段階を追ってプリントなどを活用した予復習に比重を置き、授業では、思考力・表現力に重点を置いた指導をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習したことの定着を図るため、授業や単元の終末には、学習の振り返りやまとめをしっかり行う。</li> <li>○個の実態に応じた練習問題に取り組む時間や場を確保する。特に、上位児には発展的な課題に取り組みせ、活用力を身に付けさせる。</li> </ul>



## 改善すべき児童生徒の実態

小学校	中学校
<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力テストの結果より、応用問題や、思考を伴う問題に誤答が多かった。</li> <li>■学年が上がるにつれて、考え方や解き方を説明することに対する抵抗感が高まる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■語彙、表現力が不足しており、自分なりの考えを工夫して表現する力が不十分である。</li> <li>■自らの課題を追究し、自らを高めるまでにはいたっていないために、分からないものを分からないままにしてしまう傾向にある。</li> </ul>